

日時： 2018年9月14日(金) 10時00分～13時40分

場所： 国際文献社 山吹町会議室

出席理事：久保英也(会長)、村山武彦(副会長、事務局長)、上野雄史(Skype参加)、大沼進(Skype参加)、小野恭子、神田玲子、岸本充生、藤井健吉、米田稔(Skype参加)

1. 理事会の成立

久保会長より理事の過半数の出席を得て理事会が成立することが宣言された。

2. 前回議事録の確認

久保会長より議事録案の説明があり、承認された。

3. 報告事項

(1) 会員の異動および会費納入状況

村山事務局長より書面にに基づき報告があった。

4. 審議事項

(1) 委員会等の活動

1) 事業委員会

岸本理事より書面にに基づき報告があった。今回から実施する企業展示については、丸善も参加することが確認された。また、大会会期中の理事会の開催について2日間のお昼休みに加えて、必要に応じて大会終了後から17時までの時間帯に開催することが確認された。

2) 編集委員会

米田理事より書面にに基づき報告があった。投稿料、掲載料の変更・新設、年間の発行号数、投稿規定の改定等について議論し、今後編集委員会の審議を経て具体化することになった。

3) 国際委員会

藤井理事より書面にに基づき報告があった。今期の委員会体制やSRA-Asiaへの協力内容について確認するとともに、役職・委員会等の英語名称について議論し、今後確定することとした。また、東大で開催されるシンポジウム「The Risk Quotient 2018」において学会活動を紹介するポスターを展示すること、パンフレットの作成を今後検討していくことを確認した。

4) 表彰委員会

神田理事より書面にに基づき報告があった。今期の委員会体制とともに、表彰規程のうち、委員の改選や大会優秀発表賞の選定に関して、実情に即した方向で改定することを確認した。

5) 広報委員会

小野理事より書面にに基づき報告があった。電子ジャーナル化に向けて必要な情報を整理し、メールマガジンを通じて会員の意見を聞く機会を設けることを確認した。また、学会のウェブサイト更新方法、SNSの整備について今後検討していくこととなった。

6) リスクマネージャ委員会

久保会長より竹田理事が準備した資料に基づき報告があった。基本的な方向は理解が示され、今後さらに検討を深めることになった。

(2) 「リスク学事典」の編集進捗状況

久保会長から書面にに基づき、経緯と今後の日程、全体の構成について報告があった。

5. 審議事項

(1) 学生会員の入会時の資格確認方法

村山事務局長より変更案について説明があり、今後は事務局長が資格を確認しその結果を理事会に報告することで承認された。

(2) 後援名義の申請

次の会合に関する申請があり、承認された。

名称：大気汚染物質のリスク評価手法に関するセミナー

－今後の有害大気汚染物質の健康リスク評価のあり方について－

主催：国立環境研究所 環境リスク健康研究センター

日程：2018.10.25（木）

使用する学会名義：後援

(3) 中期戦略・今期の役割分担

久保会長より書面にに基づき説明があり、一部修正のうえ承認された。

(4) 国際会議等への参加に対する支援の扱い

久保会長より書面にに基づき説明があり、審議の結果、包括的な規定については引き続き検討すること、World Congress on Riskにおける事典紹介のための経費については何某かの支援を行うこととし、広報戦略の一環という形も含めて具体的な支出方法について今後検討することとした。

(5) 2019年度年次大会開催場所

審議の結果、東京圏での開催を念頭に置き、東工大や学術総合センターでの開催の可能性も探りながら、引き続き検討することとした。

(6) 2019年度総会シンポ

会場は東大山上会館で、日程を2019年6月の最終週を目処に検討することとした。

(7) 次回の日程

審議の結果、福島大会の会期中である11/10（土）、11/11（日）の両日のお昼休みに行い、必要に応じて、大会終了後の11/11（日）16:20から17時頃まで行うこととした。

以上

議事録署名人（署名） _____ 印

議事録署名人（署名） _____ 印